芳工連だより

'15／03
第129号

□ 発行 芳賀町工業団地連絡協議会　□ 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台 98　□TEL 028(677)5033
□ http://www.hokoren.com　□ E－Mail : information@hokoren.com　□編集責任者 七井 真人

■県知事との意見交換会開催

県内の８工業団地で構成する栃木県工業団地管理連絡協議会が「栃木県知事との意見交換会」を平成27年２月13日 宇都宮市内で開催しました。

芳工連から小川会長、富永副会長、事務局長の３名が出席しました。栃木県からは福田知事、荒川産業労働観光部長ほか２名が出席、栃木県工業団地管理連絡協議会からは２３名が出席し、総勢２７名による意見交換会となりました。

意見交換会は、各工業団地代表者と知事が直接お会いして、県政の重点施策をご説明いただくとともに各工業団地の情報や要望などについて意見を交換するものです。

団管連 金田忠士事務局長の司会進行により、藤井昌一理事長の挨拶に続いて、福田富一栃木県知事から県政に関するご説明がありました。その概要は次のとおりです。

■県政に関する知事の説明概要

国は、「まち・ひと・しごと創生本部」をつくりましたので、私たちもそれを受け、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を平成２７年度中につくることになっている。地方の消費喚起、子育て・人口減少対策の２部門で知恵をだすよう国から要請があった。補正予算では県も市町と一緒になって国の交付金を充て、旅行券や商品券発行事業を盛込んだ。工業振興や雇用確保を含め、生き残りをかけ努力するので皆様からもアドバイスを頂戴したい。

今日から県議会が始まり、８，１１５億５，０００万円の平成２７年度予算を発表した。前年度当初比で３７９億円、率にして４．９％の増となった。女性活躍推進、東京オリンピック・パラリンピックを見据えた戦略的取組みなどを重点とした「とちぎの成長戦略予算」である。

指定廃棄物処理の課題が残っている。現在県内１７０か所に分散保管され、１４０か所は酪農家の庭先にある稲ワラや糞尿、１０か所は腐葉土業者のもの、２０か所は自治体等の上下水道汚泥や焼却灰である。これらは１４，０００トンありプール４０杯分になるが地域に分散保管されている。指定廃棄物が存在することや１か所に保管することが風評被害を生むわけでなく、今ある指定廃棄物が災害等で拡散することで風評被害を生むので、安全な施設をつくり安全に保管することが求められている。御理解をいただきながら対応したい。

まもなく、ジェトロ貿易情報センターが県産業交流センター内に設置されるので海外展開、人材育成に努める。

雇用情勢については、有効求人倍率が１．０１倍で全国２９位（平成 26 年 12 月発表）となった。平成２０年８月以来６年４か月ぶりに栃木県は１倍を超えた。さらに率を高めたい。就職内定率は１１月末で大卒は５８．８、高校卒は８４．９でいずれも前年同期を上回った。

新卒者の県内就業促進を高めるため求人企業合同面接会、企業見学バスツアー、とちぎジョブモールの相談支援、適職診断などを実施するほかハローワークでの支援も行う。４月以降は学生の UI ターンで若年人材の確保を図りたい。

平成２９年秋に技能五輪を栃木県で開催するので、技能の向上、技能を尊重する機運の醸成、障害者雇用の促進につながるよう努めたい。県産業の裾野の拡大、競争力の向上になると思う。大会には１，０００人超の選手が来る。延べ１０万人の来場者を見込んでいる。経済活性化に結び付けられるよう PR に努めたい。新年度予算で選手育成に取り組む。大会成功には企業の皆様のご支援を頂戴しなければならないと思っている。

観光振興については、首都圏の主要駅、イベントスペースなどで様々なことを実施して周知に努めている。今年は徳川家康が没して４００年の節目となることから、日光東照宮では５月１７日に４００年式年大祭を開催する。JR 東日本の重点販売指定を２年続けて受けたので、しっかりとチャンスをものにしていきたい。

県では、健康長寿とちぎづくり推進県民会議を組織して、健康長寿とちぎづくりに関する社会的気運の醸成を図り、県民の健康づくりを推進している。推進県民会議メンバーに栃木県工業団地管理連絡協議会に参画していただき、様々な取り組みへのご協力をお願いした。趣旨を御理解いただきご協力を賜りたい。

道路整備については、茨城県内暫定２車線部分の新４号国道は３月中に４車線化が完成する。また、五霞インターも３月中に供用開始し圏央道を利用できようになる。

清原工業団地から要望のあった、宇都宮・高根沢バイパスは平成３２年度の東京オリンピック頃に全線開通させ国道４号線の氏家バイパスと接続できるよう用地取得を進めている。

真岡工業団地から要望のあった４０８号線真岡南地区は暫定２車線で開通できるよう詳細設計中である。宇都宮地内４０８号暫定２車線は４車線にする工事に着手する。

小山工業団地から要望のあった県道結城・石橋線は用地取得を進めている。

芳賀工業団地から要望のあった、高根沢地内廻り谷交差点から南への県道延伸は用地取得中である。

また、宇都宮市陽東地内の道路冠水対策については、今年度中に注意看板設置のほか、LED による表示板、路面監視カメラを設置し安全対策を向上させる。

■芳工連小川会長の発言要旨

芳賀町の工業団地には１０１社が立地し、うち８１社が芳賀町工業団地連絡協議会に会員登録している。１０１社のうち４７社（４６．５%）が研究・開発を含む製造業、２４社（２３．７%）が運輸倉庫業、１１社（１０．８%）が旅行会社や自動車整備会社などのサービス業である。これらの業種で全体の８１．１%を占めている。

内閣府が２月９日に発表した１月の景気ウオッチャー調査結果によると、「北関東の現状判断指数は前月を１ポイント上回る４１．７で２か月連続上昇した」という情報があった。

当工業団地の経済状況は、先行きについては、緩やかな回復基調にあると思う。なぜなら研究・開発に関係する会社及び運輸倉庫業について、昨年から設備投資が活発になっているようだ。

また、次年度の新規採用を増やしている会社も見受けられる。昨年から委託及び派遣社員を増加させる傾向にあるので、当工業団地への通勤者数が増加し、朝の交通渋滞が再び起きている感がある。

運輸倉庫業は、北関東横断道また国道４０８号線の整備、さらに圏央道へのアクセスが良くなっていることもあり、物流倉庫の建設または用地確保を急ぐ企業も見受けられる。そのような意味で道路整備が地方活性化、事業活況のキーになっていると思う。

総務省が２月５日発表した２０１４年の人口移動報告によると、宇都宮市で転入者が増加したとの報道があった。少なからず芳賀工業団地に通勤する従業員の増加傾向とリンクするものと考えおり、交通渋滞や交通事故への課題が喫緊の課題と認識している。

交通事故防止対策では、交差点への信号機設置、矢印信号機及び歩行者用信号設置が必要な個所があり真岡警察署に陳情をしている。

LRT の事業計画が新聞で報道されているが、芳賀工業団地には物流企業が多数立地していることから、事業活動に影響がでるのではないか、と不安を訴える会社がある。

軌道設置等の工事期間中及びLRT車両の通行に伴う交通渋滞による物流遅延等を懸念する声を聞いている。

今後の計画推進にあっては県としても適切な対応をお願いしたい。

■懇親会

意見交換会が終了した後、知事を囲んで懇親会が開催されました。各工業団地の役員さんは知事や県職員と幅広い分野の話題で情報交換をすることができ、有意義な時間を過ごしました。

■総務企画部会

第３２回ボウリング大会開催

２月２５日 宇都宮ゴールドレーンで１５社６４名の参加により第３２回芳工連ボウリング大会が開催されました。

回を重ねるごとに参加人数が増えてきて、芳工連活動の盛り上がりと纏りを感じる大会でした。競技がスタートすると全てのレーンは大歓声に沸きました。笑顔いっぱいの和やかムードが印象的でした。

優勝は㈱日高精機様（写真右）、２位は㈱ホンダテクノフォート様、３位はホンダ開発㈱様でした。おめでとうございました！

今回も、ホンダエンジニアリング㈱様、㈱サンクレール様、AGC オートモーティブウインドウシステムズ㈱様、㈱オートテクニック様、㈱本田技術研究所四輪 R&D センター様、㈱ホンダテクノフォート様、日本梱包運輸倉庫㈱様、ホンダ開発㈱様、㈱ベストロジ栃木様、エヌケイエンジニアリング㈱様、三菱 UFJ 信託銀行様、㈱日高精機様から豪華賞品を提供いただきました。ありがとうございました。

■安全衛生部会

第３回部会開催

２月 25 日 第３回の安全衛生部会を１２名の参加により開催しました。澤亮部会長は会議に先立ち、「今年度は、初めて危険予知訓練研修会を実施したほか、例年の普通救命講習会、労働安全衛生などの事業を実施し、当初の目的を達成すことができた。ご協力をいただいた皆様に感謝します」と挨拶しました。

議題の（１）平成 26 年度事業実績及び決算報告については、普通救命講習会（5 回開催 131 名）、危険予知訓練研修会（22 名）、安全活動事例発表会（46 名）などの事業実績を承認いただきました。決算額は 35 万円余となり昨年度より 18 万円余増加する見込みであることを承認いただきました。

（２）平成 27 年度事業計画（案）及び予算（案）については、平成 26 年度で実施した事業をすべて計画するほか、栃木県健康長寿とちぎづくり条例に基づき、事業所の健康づくり推進の一環として、芳賀町が実施するチャレンジデー事業（5/27 実施）を当部会が窓口になり推進すること。また、親子交通安全教室の実施については正副部会長に一任することを決定しました。予算（案）では全国産業安全衛生大会参加者支援等を含む詳細を正副部会長に一任することを決定しました。

■労務管理セミナー参加

２月２日 真岡市内に於いて、真岡労働基準協会が主催する平成 26 年度労務管理セミナーが開催され、芳工連からも会員企業の皆さまが参加しました。主催者である労働基準協会の

労働管理部会長 大和ハウス工業㈱栃木二宮工場長　田中彰二氏は、「昨今は人手不足が深刻になっているが、労務現場では改善の兆しがない。また、就業して３年以内に離職する傾向が続いていることも深刻な問題である。グローバルな中で労務環境が変化しているので、打開策の糸口を見いだせるセミナーとなれば幸いである」と開会の挨拶で述べています。

真岡労働基準監督署 高橋拓署長は、「昨年は労使双方から 1,200 件の相談があった。労務管理の分野は幅広いことから様々な問題があるので、トラブルに関係する法律を理解していただきたい」と挨拶しました。

中川徹 監督課長による「労働相談から見る労務管理」と題する講演では、過重労働の相談事例が多いことから、原因、対策取組みの契機、対応と効果等を説明いただきました。効果のある対策ポイントは幾つかあるけれど、経営トップの強い決意で対策を実施することは大きな要因となるそうです。

栃木労働局 渡邉宏子 雇用均等室補佐による「改正パートタイム労働法に基づく雇用管理上の留意点について」と題する講演では、平成 27 年４月１日施行される改正パートタイム労働法に関する雇用管理上の留意点について詳細説明がありました。

■安全衛生部会・環境整備部会

視察研修会

安全衛生部会・環境整備部会合同の視察研修会を２月 16 日開催しました。会員企業 12 社 15 名、事務局２名の 17 名が、平成 26 年６月ユネスコ世界遺産に指定された「富岡製糸場」を見学しました。この研修会は、芳工連会員企業の皆さまが、労働安全衛生・環境向上などに関する先進地の実情、或いはそれに関連する歴史及び文化に触れることで、企業活動における安全・安心の向上や業務遂行における士気を高めることなどを目的としたものです。

今回の研修先は、稼働中の企業ではなく、明治維新以降に他国に例を見ないスピードで近代化を成し遂げた日本近代化遺産でした。

富岡製糸場は明治５年に明治政府が生糸の品質改善・生産向上・技術者養成を目的として設立したものです。

正門から眺める赤煉瓦倉庫は威容を誇るものです。ボランティアガイドから約１時間にわたり施設の案内をいただきました。

操糸場の内部は、104.4mの長さに整然と並ぶ自動繰糸機も圧巻ですが、建物内部に柱のない広い空間にも驚きます。小屋組は「トラス構造」という西洋式工法が採用され、美しい屋根裏の木組工法に目を奪われました。

製糸場といえば、小説「あゝ野麦峠」のなかで、飛騨の農家の娘たちが、野麦峠を越えて諏訪や岡谷地方の製糸工場へ働きに出、劣悪な環

境の下で女性工員たちは命を削りながら、当時の富国強兵の国策を支えたことが記憶に残っています。

しかし、この富岡製糸場は、一日７時間 45 分の勤務時間、週６日勤務で日曜日は定休日としたほか、読み書き、算術、裁縫といった教養習得の機会を与え、専属の医師と診療所を設置するなど、福利厚生の充実を図っていたそうです。

1872 年（明治５年）官営模範工場として創業しますが、1893 年（明治 26 年）三井家に払下げられ、1902 年（明治 35 年）には原合名会社へ譲渡、1938 年（昭和 13 年）片倉工業へ譲渡されます。1987 年（昭和 62 年）３月末で操業停止となりました。

片倉工業は、2005 年（平成 17 年）に国指定史跡となった建造物のすべてを富岡市に寄贈しましたが、富岡工場（旧富岡製糸場）閉所後も一般向けの公開をせず、操業停止から 17 年間に亘り社員３人を常駐させ、「貸さない、売らない、壊さない」の方針を堅持し、維持と管理に専念しました。

富岡製糸場は巨大さゆえに固定資産税だけで年間２，０００万円、その他の維持・管理費用も含めると最高で１年間に１億円以上かかったこともあるそうです。

また、片倉工業は修復工事をする場合でも、コストを抑えることよりも、当時の工法で復原することにこだわったということです。

こうした片倉工業の取り組みがあったお蔭で、富岡製糸場が良好な状態で保存されました。片倉工業の貢献度は高く評価できます。

参加者から、「近代産業を興し世界に誇る高い技術を開発し続け、日本の発展に尽くした先人達の歩みを知ることで、企業人としての自信と誇りを再確認できた。未来創造の活力になる意義ある研修だった」との感想が寄せられています。

芳工連日誌

【２月の実績】	【３月の予定】
２日　労務管理セミナー	３日　事務担当者研修会（団管連）
16 日　視察研修会（富岡製糸場）	６日　交通防犯部会
18 日　知事との意見交換会（団管連）	６日　総務企画部会
25 日　安全衛生部会	12 日　環境整備部会
25 日　資源ごみ回収日	19 日　役員会
25 日　ボウリング大会	19 日　普通救命講習会
	25 日　資源ごみ回収日